

庁議報告事項

開催日：令和6年1月29日(月)

1 桑名市長から

- 能登半島地震被災地で支援を行った職員は本当にお疲れさまでした。
- 能登半島地震については各部局で対応し支援を行っているが、現地は過酷な状況であるため、派遣職員に対してしっかりとバックアップ体制をとるなど、引き続き状況の把握、支援を行うようお願いする。
- 輪島市では災害対応職員が少なかったこともあり、すぐに受援体制をとることが出来なかったとのことだが、高知市においても受援体制構築について対策を講じる必要がある。また、支援車両やヘリコプター等の外部からの支援が遮断された場合を想定した対策も検討しておくこと。
- 土曜日に高知市職労の青年部駅伝大会が開催された。私も参加したが、職員が一体となっているのを感じた。イベントだけでなく職場においても、一体感の感じられる働きやすい職場作りを心掛けるようお願いする。
- 全国市長会で人口減少対策についての議論があったが、職場での子育て支援は重要であり、男性職員の育児休暇取得をどう進めていくかが課題である。高知市においても、庁内で休暇を取得しやすいような広報や雰囲気作りの検討をお願いする。
- 令和6年度予算の査定が始まる。厳しい財政状況の中でも、市長が変わったことへの期待感に込えられるような、市民が変化を実感できるような予算編成作業を進めていくので、各部局で対応をよろしくをお願いする。

2 弘瀬副市長から

- コロナ罹患による療養期間中は代理出席等の調整でご迷惑をおかけし申し訳なかった。インフルエンザやコロナが流行しているので、引き続き各自で感染対策を行うこと。
- 令和6年度予算の査定が始まるが、事業の必要性や効果等について丁寧な説明をお願いする。また、厳しい財政状況の中での査定となるが、必要な事業を構築するため、各部局が消極的になることなく活発な議論を行うこと。

3 各部局から

○ 報告事項

- ・ 高知市推計人口データについて (総務部)
- ・ 消費者物価指数について (総務部)
- ・ 石川県輪島市へのトイレトレーラー派遣報告について (防災対策部, 消防局)
- ・ 能登半島地震被災地への職員派遣について (口頭：総務部)